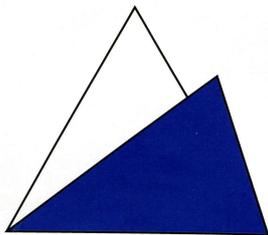
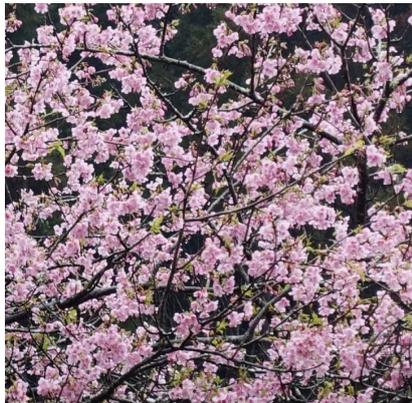


会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2021年 3月



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2021年 3月 1日発行 通巻335号

春山は、コロナ感染対策を

万全にして楽しもう！

3月号目次

・ 目 次	2
・ 全国評議会報告	3
・ 県連理事会・活動報告・活動方針	6
・ リレーエッセイ	8
・ 雪上講習会案内	9
・ 3月・4月予定表	10

表 紙 説 明

我が家では、メジロが遠退き春の花が咲き出しました。
先日は、ふきのとうの天ぷらと、菜の花のおひたしをいただきました。
春が近いことを実感しました。

山菜採りを心待ちにしている会員も多いと思います。
そこで、チョット気になったのは、山菜山行で山菜の天ぷらを食べる
時もマスクを着けて、密を避けて離れて静かに食べる。
せっかくの春の恵みなのに、何となく味気ない気もします。

中途半端なコロナ感染対策のおかげで、楽しい春山はどうなるのか。
「うつらない・うつさない」感染防止対策を徹底しよう。

全国連盟第 34 期第 1 回評議会に参加して

安彦 秀夫（東葛山の会）

日時：2021年2月20日（土）12：00～21日（日）12：00（1泊2日）

場所：ホテルコンチネンタル府中（東京都府中市）

評議員：出席17名、Web参加13名、委任状19名、欠席5名（定数54名）

全国役員：会長、副会長、監事、事務局、専門委員、理事長、副理事長、理事など

千葉県連参加者（3名・敬称略）：全国連盟理事（山本尚徳、石川昌）、

評議員（安彦秀夫）

新型コロナウイルス感染で首都圏に2度目の『緊急事態宣言』が発出・延長され、不要不急の外出規制のある中、一抹の不安を抱えながらマスク着用で参加しました。1年前の総会とは打って変わって、参加者全員がマスク着用でした。当然ですね！また、コロナ禍ということで、遠くの地方連盟からは、Web参加が多かったです。

議案書に盛られた多くのテーマに対して活発な質問や意見・提案、そして各地方連盟からの活動報告などが2日間に亘りありました。Web参加者もいるということで、カメラに写る位置にある演台に出て発言するという新しい試みでした。



日本勤労者山岳連盟 第34期 第1回評議会 仲間とともに、新たな一歩を踏み出そう！ 2021年2月20日（土）～21日（日） 会場・ホテルコンチネンタル

次の3点に絞って報告します（順不動）。

- ① 女性委員会委員長退任要求（2019年12月）に関して多数の意見応酬あり
→退任要求を規約違反と片付けて欲しくない
→退任要求に関して、きちんと総括してほしい
→女性委員長が活動を進める上での信条は何かなどに付いて問われ発言あり
→具体的な方向性が示されずに、議案書より経緯部分が削除された
- ② 機関誌としての登山時報の購読数激減対策について意見続出
→無償化して全会員に配布してほしい。そのために、カラー写真を厳選し、ページ数を減らし、会員の関心の強い特集を組んだりしてほしい
→会に送付されても配布できないので、購読者に直送してもらいたい
→PDFをホームページに掲載してほしい
→紙媒体と電子媒体の2本立てであれば、購読者は更に減少するのでは？
- ③ 各地方連盟の活動状況が、南から北の順で報告されました。
→東日本大震災被害や熊本豪雨被害等に対する支援御礼、
→自然破壊（原発再稼働、大型風力発電開発、リニア新幹線工事など）に対して地方連盟挙げて取り組んでいる
→コロナ禍で困窮している山小屋支援の取り組みをした

- Web や SNS、インスタグラムなどでの会紹介が会員拡大には有効のようだ
- 山の楽しさを訴える会が会員を増やしている
- 2020 年はコロナ禍で計画した行事の大半が中止になった（多くの連盟より）
- 労山基金の『個人賠償プラン』を是非とも設定してほしい

2 日目にも各地方連盟からの報告や発言があった後、浦添理事長から討議の纏めとしての報告があり、提案された次の議案 4 件は、全て承認されました。

- ① **第 1 号議案:第 34 期上期(2020 年)活動総括と第 34 期下期(2021 年)活動方針**
 (女性と登山の項で、女性委員会委員長退任に関するの経緯部分 13 行削除)
 ⇒ <挙手採択 (Web 含む): 保留 3、反対 1、賛成 24>で承認
 - ② **第 2 号議案:第 34 期上期(2020 年)決算と第 34 期下期(2021 年)予算**
 (労山基金第 2 種基金の個人・団体・合計寄付金、交付金額・交付率等訂正)
 ⇒ <挙手採択 (Web 含む): 保留 0、反対 0、賛成 29>で承認
 - ③ **第 3 号議案:労山事故対策基金規定の一部改訂(第一種基金の廃止)**
 (廃止の背景: 58 団体が加入しているが、公的救助の拡大で 10 年以上利用なし)
 ⇒ <挙手採択 (Web 含む): 保留 0、反対 0、賛成 30>で承認
 - ④ **第 4 号議案:日本勤労者山岳連盟の不動産管理のための一般財団法人設立**
 (労山のような団体でも法人格を比較的手軽に取得できるようになり、新たに法人を立ち上げ、所有する不動産『全国事務所の土地・建物』の登記を実施)
 ⇒ <挙手採択 (Web 含む): 保留 0、反対 0、賛成 30>で承認
- <注>合計票数が異なるのは、採決時に Web 参加者が一時退席したためです。



新特別基金制度の『無事故報奨金』の表彰・授与が行われました。対象団体は『131 会』のようですが、一覧表が配布されず、千葉県連関連については不明です。

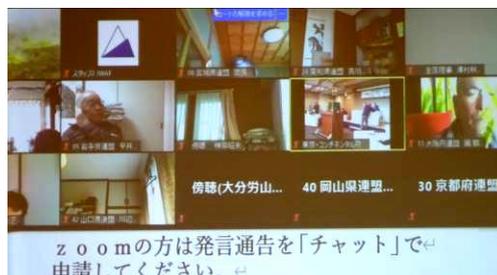
最後に、『平和な世界、安心できる登山を実現するために核兵器禁止条約に日本政府が署名・批准することを求める決議』を朗読し、拍手で承認されました。

全議案を可決・承認して評議会は無事終了となり、Web 参加者も加えて、全員マス

ク姿での集合写真を撮り散会となりました。

総会とは別に、『関東ブロック打合せ』が行われ、『2021年行事任務分担』などについて話し合われました。『自然保護交流集会』の昨年の担当は千葉県連でしたが、コロナ禍で中止になりましたので、今年も担当となります。自然保護委員会が中心になり企画運営をお願いします。(連絡不徹底で私は参加できず、評議会終了後に佐々木功会長と個別に話しました。)

私は、『登山時報』の購読数が減少傾向にあり、かなりの予算を毎年計上していることに関していくつかの意見を述べました。



- ① 労山の機関紙であるならば、会員全員に無償配布するべきではないか。それを実現するために、掲載カラー写真を厳選し、ページ数を少なくし、会員の要望する特集などを企画し、全国連盟と会員の情報交換をするページを多くするなどの工夫をするべきではないでしょうか？
- ② 紙媒体を止め、全国連盟のホームページに掲載するのみでも良いのではないのでしょうか？(現在、2~3ヶ月遅れでホームページに掲載されています)
- ③ 全国から各会に纏めて送付されても、例会などが開かれないことも多く、購読者へのタイムリーな配布が難しい状況が続いています。購読者個人へ直接送付を検討してみてもいかがでしょうか？

更に、**千葉県連盟からの活動報告**として、主に次のことを報告しました。

- ① コロナ禍で計画した県連行事・集会は、殆ど中止せざるを得ませんでした。その中で唯一『事故防止経験交流集会』を開催し、事故事例報告、コロナ禍の登山スタイル提案、高所登山の心構えなどに付いて意見交換をしました。
- ② 自然保護活動に関連して、千葉県は四方を海や河川に囲まれており、『海岸や河川・湖沼のプラスチックごみ問題』も山のごみ以上に真剣に取り組んでいく必要がある…ということで、海岸線や湖沼のクリーンハイクを計画しましたが、コロナ禍で実施できませんでした。今後、是非とも自治体と協力して取り組みたい。
- ③ コロナ禍で県連役員や各会の代議員が一堂に集まっての定期総会を開催する事ができないため、メールでの質疑応答そして採択を行いました。

隔年開催の県連役員・理事と各会代表者の『合同会議』も、『定期総会』の際に行った方法と同様に実施しているところです。

【感想】

コロナ禍で、夕食と朝食は、『マスクをし、使い捨て手袋を付けて料理を取り分け、テーブルは全てはす向かいに座り、静かに食べる…』というビュッフェでした。

従って、他の地方連盟の参加者との談笑も殆どなく、折角の機会なのに情報交換が充分にできなかったことが心残りでした。(2021/2/25/Thu.)

第55期（2021年度）千葉県連理事会 活動方針（案）

◆ 第54期（2020年度）活動報告

新型コロナウイルス感染症の対応により、予定した活動を中止する状況が続き
県連活動にも大きな影響があった。

1、第54期・55期総会について

(1) 会場の使用が使用出来なくなり、予定した全ての議案をメールで提案し裁決を
実施した。質問や意見が出されたが十分な討議が出来なかった。

今回、総会を開催出来ない緊急事態に直面したが、県連理事と会員・会代表者の
協力で前に進むことが出来た。

総会が開催出来ない等の緊急事態への対応も準備しておく必要を強く感じた。

(2) 定例理事会（月・1回 船橋市西部公民館 19時～21時）

① 2020年3月～6月 会場の使用が出来ず、中止した。

メールでの連絡になり、十分な対応が出来なかった。

② 2020年9月以降は予定通りに実施出来た。

月1回の実施であるが、全理事が出席する会議は重要なことを実感した。

③ 理事が出席出来ない会もあるが、会員や会代表者が代理出席している会もある。

（会が遠隔地で、仕事が終わってからの出席は時間的に無理）

(3) 事故防止活動について

① 教育遭難対策委員会・活動報告、事故一方報告を参照。

コロナ感染防止対策の中で「事故防止交流集会」の実施は意義があった。

会員の事故は、例年に比べて少なかった。コロナにより外出自粛で山行が少な
かった事も一因かと思う。

(4) 委員会・部会について

① 教育遭難対策委員会、ハイキング委員会の他は委員数が少なく十分な活動が
難しい現状である。担当理事だけの委員会もあり各会の協力が急務である。

② ふれあいハイクについて

2019年度は台風で中止になり、2020年度は実行委員会で準備を進めた
が中止になった。2021年5月23日の実施を決定し準備を進めている。

(5) その他の活動について

① 県内山岳3団体による登山道の復興作業について

第1回会議を2019年12月に実施した。2020年より復興作業開始予定
であったがコロナ感染防止のため全活動を実施しなかった。

② 鴨川メガソーラ建設について

・ 自然保護委員会報告を参照。

・ 現地からの情報が全くない状況であり、自然保護委員会だけで取り組める運動
ではない、理事会として関心を持って取り組む必要がある。

・ 千葉県の自然保護について、自然保護団体との連絡・協力が必要な時期である。
コロナ禍で他団体との協議等は厳しい状況であるが、じっくり協力関係を構築
するチャンスでもある。

◆ 第54期（2020年度）重点活動について

1、交流山行

・2020年度方針

交流山行の意義・実施方法について議論を行う。交流山行の実施と目的を共有して無理のない自然な形で実施したい。

① 第2回交流山行を実施。

・2020年11月15日 裏筑波 7会より29名参加

・かがりび山の会が幹事として、計画し参加を呼び掛けて実施した。

・計画書、山行管理等は参加会のルールで行い、集合時間と場所を決めるだけで、実施した。かがりび山の会のリーダーがコースを熟知している事もあって楽しく有意義な交流山行となった。

・第1回交流山行を2018年11月に実施した。（2会より7名参加）

以降実施出来なかった。今回の交流山行が、今後の取り組みの方向を示した。

2、会員拡大への取り組み。

・2020年度方針

会員で実施しているクリーンハイク、ふれあいハイクを一般公募制にして、参加者に入会を呼びかける。

・ふれあいハイクに、千障連会員以外の参加と労山会員以外のサポート参加を千障連やふれあいハイク実行委員会に提案し承認された。

◆ 第55期（2021年度）活動方針

「県連は必要か」「県連は何をやっているのか」最近、良く聞きます。

厳しい言葉です。前年度も同じ方針を提案しましたが、コロナ禍で全てが実施出来なかった。今年度も会・会員からよく見える県連を目標に活動します。

1、理事会について

・理事会は、8月を除き毎月開催する。（第3木曜日・船橋市西部公民館）

・連絡事項等の時間を少なくし、会の現状報告や情報交換等の時間を確保する。

2、事故防止活動について

・教育遭難対策委員会と協力し理事会としても事故防止に取り組む。

3、委員会・部会活動について

・県連理事は、委員会担当理事として委員会活動に参加する。

・会単独では取り組めない講習等を実施して、会と会員の要求に応える。

4、ふれあいハイクについて

・2021年5月23日（大山千枚田）で実施する。

・県連会員の知人や紹介の障害者の参加をサポートする。

5、房総の登山道の復興作業に取り組む

・「房総の登山道復興プロジェクト」に参加して復興作業に取り組む。

6、第54期の重点活動を、第55期も継続実施する。

以上

第54期活動報告・第55期活動方針（案）を掲載しました。
各委員会活動は次号に掲載予定です。

ハイキング委員会 リレーエッセー

第2回 小町山ハイキングコース リベンジ山行

ハイキング委員 桑原 年一（松戸山の会）

日 時 2020年4月11日（土）晴 車利用

上天気なのでコロナ禍の中ですが思い切ってリベンジに2人で出掛ける。

自宅7:50 出発=6号線=土浦北IC方面（125号線）=小町の館駐車場9:30 着
花の時期と見えて人が来ていて満車状態だ、皆考えは同じと見受けた。

公園を散策、（今が絶好の新緑の中に山桜がある）景色を堪能してからゆっくり出発する。

今回はマップ通りの登山口から入る。地元山の会有志が切り開き、名所や山道も整備されていて歩きやすい。まず祭ってある山の神に手を合わせ、尾根・沢コース分岐で尾根コースを選び進む、山桜は綺麗だが道中は上を見ないと分からないので時々立ち止まって見る。此処なら私達向きだと思いながら行くと直ぐに岩稜帯のある分岐に着く、先日と全然違うコースだ。色々な名前を付けた岩々を堪能する。この辺から急登になったが、所々ベンチがあり休みながらの歩程で苦も無く山頂を踏むことが出来た。最近整地した所なので広くて展望も良く、何よりパラグライダー基地からの展望が良い、使用していない時などはのんびりと昼寝をしたいところだ。

ゆっくりして下山は途中の分岐から「天の川コース」を下る。ここも良く整備してあり見るところもあり飽きないコースだ。今回はちゃんとマップ通りに歩いて良かった。此処なら我々向きの山行が出来るので皆に紹介出来ると思う。

帰りは山頂裏を走る（裏筑波スカイライン）を走り、今登った山々を見ながら筑波山つつじが丘入り口前から参道を下り、筑波研究都市を通り帰宅した。

小町山はこの他に6コースもあるので徐々に開拓しようと思っています。



写真は、桑原さんから2020年5月号に小町山ハイキングコースの山行報告を投稿いただいた時の写真です。リベンジ成功しましたね。

2021 雪上技術講習の案内

千葉県連教育遭難対策委員会

残雪期の事故防止を目的として、雪上技術講習を実施します。
今回は参加人数を限定し、外部講師を招いて開催します。
なお、新型コロナウイルス感染状況により中止することもありますので、予めご了承ください。

記

主催：県連教育遭難対策委員会

日時：4月3日（土） 7時30分集合 8時開始～13時終了

場所：谷川岳・マチガ沢出合い付近

積雪が少ない場合は、他の場所に変更（事前打合せで連絡）

講習内容：残雪期の雪上技術訓練 初級及び中級

雪上歩行、ストック・ピッケルの使い方、滑落停止、
ザイル（ロープ）ワーク

募集人数：10名（今回の講習内容を自会に持ち帰り、会員へ指導できる方を対象とします）

参加費：2,000円／人 現地支払い。

事前打ち合せ：3月29日（月）19時30分～ZOOMでのオンライン

持参装備：雪山装備一式（アイゼン ピッケル ハーネス カラビナ スリング
ヘルメット）

申込み：別紙申込書にて各会理事より3月19日までに教遭委員会 伊東へ
<itou2385@yahoo.co.jp>090-1774-3384



写真は、関東ブロック救助隊交流会です（谷川）

県連予定表

3月		
日付	曜日	会議・イベント
1	月	役員会 19:00~ @県連事務所
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	理事会 19:00~ @船橋西部公民館
19	金	
20	土	春分の日
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	教遭委員会 19:30~ オンライン会議
30	火	
31	水	

4月		
日付	曜日	会議・イベント
1	木	
2	金	
3	土	雪上技術講習 谷川岳・マチガ沢出合い付近
4	日	
5	月	役員会 19:00~ @県連事務所
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	理事会 19:00~ @船橋西部公民館
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	教遭委員会 19:30~ オンライン会議
27	火	
28	水	
29	木	昭和の日
30	金	

事故発生時の連絡先

◎事故一報は事故発生後一か月以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp (伊東)

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

(ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509)

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>